

# 持続可能な学校支援の仕組みづくりを!

## これまでの成果

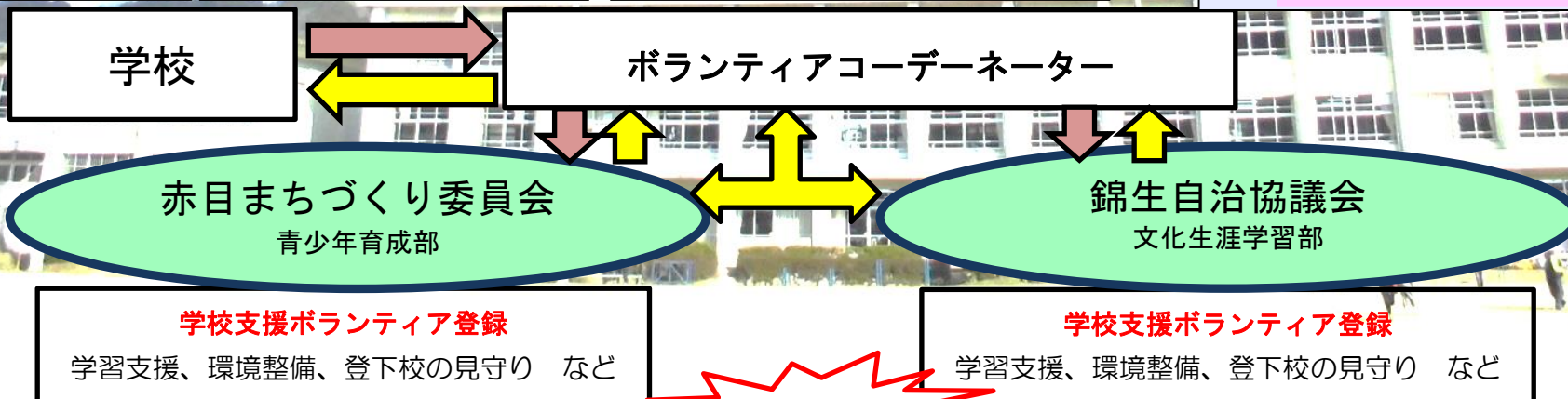
## これまでの課題

## 解決に向けて

子どもたちにとって	学校にとって
1 地域の大人の方々とふれあいが生まれた。	1 教職員の知りえない知識・技術を教えてもらえる。
2 地域のことを知り、地域に出かける機会が増えた。	2 少ない人員の中で支援していただき、子どもたちへの指導に、ゆとりと広がり生まれている。
3 学習や活動に大人の方の多くの目があることで、安心感がある。	3 安全面に目を配っていただくことで、安心感がある。

○ボランティアさんが固定化されてきている?
● ボランティア活動が広まらない。 ● 学校支援について知らない人が多いのでは?
○コーディネーターや管理職が変わったら
● 「〇〇さん」だからできるけれど… ● 毎年、日替わりメニューみたいになるの?

◆ ボランティア活動の有用性を広める。
● 活動の様子や、効果を発信すること。 ● 地域の人材の掘りおこしを。
◆ 誰もが参加しやすい、息の長い活動を。
● 常に活動の見直しをはかりながら、地域の活動と学校の活動のマッチングを。 ● 気軽に参加しやすい体制づくりと、無理のない程度の参加を啓発する。



オラが学校!! みんなで、いつでも、かけつけるで!!